

吹田市食育懇談会 議事録

- 1 開催日時 平成26年（2014年）2月20日（木）午後2時～3時12分
- 2 開催場所 吹田市立保健センター 研修室
- 3 出席委員 幸林 友男委員、御前 治委員、三木 秀治委員、大森 万峰子委員
由佐 満雄委員、川田 美智委員、竹原 佳子委員、清水 詩子委員
権野 隆委員、八畠 愛委員、平野 和子委員
- 4 欠席委員 辻本 功委員、寺井 淑子委員、開 康寿委員
- 5 市出席者 保健センター
岸上 孝司所長、岸 敏子参事、乾 裕参事、山野 由理子主幹
安井 香主査、村山 靖子主査、安宅 千枝主査、村澤 亮平主査
- 6 案件 （1）平成25年度食育推進事業実施状況について
（2）平成26年度食育推進事業（案）について
（3）今後の食育推進について
（4）その他
- 7 議事の概要 別紙のとおり

吹田市食育懇談会（平成２６年２月２０日開催）議事の概要

委員長 それでは、お手元にお配りしております次第に従いまして、案件に入りたいと思います。最初に、案件（１）「平成２５年度食育推進事業実施状況について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局 ＜資料に基づき説明＞

委員長 事務局の説明について、何か御質問や御意見はございますか。

B委員 地域包括支援センターで実施されている出前講座ですが、２７回も実施されたということで、地域に出向くという面でも非常に効果的な取組だと思います。参加者にばらつきはありますが、まずは地域に出向くことで次第に浸透していくのかなと思います。今回は２７回実施されたとのことですが、これまではどういう状況だったのでしょうか。また、今後どのような方向で実施されるのかを教えてください。

事務局 地域包括支援センターでは、これまでも出前講座を実施しておりまして、今年度は高年期が重点ライフステージということもあり、これまでの運動や認知症予防といった内容で御依頼があった場合においても、依頼者と調整したうえで、「食育」をプラスして実施させていただきました。来年度以降についても、引き続き取組を継続してまいりたいと考えております。

B委員 食育紙芝居についてですが、対象を小学校に限らなくとも、地区の福祉委員会でも子育て支援の取組を実施しておりますので、紙芝居に限らず食育の取組全般について、まだまだ関心が低いこともありますので、どんどんPRしていただきたいと思います。地区福祉委員会の委員長会議もしておりますので、もっとPRしていただきたいと思います。

委員長 貴重な御意見ありがとうございます。他に御質問等がないようでしたら、案件（２）「平成２６年度食育推進事業（案）について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

事務局 ＜資料に基づき説明＞

委員長 事務局の説明について、何か御質問や御意見はございますか。

D委員 講演会はどれぐらいの規模で考えておられるのでしょうか。

事務局 200人規模で考えております。今後は講演会の周知のため、チラシの配付をお願いすることもあるかと思いますが、御協力をお願いいたします。

委員長 他に御質問、御意見はございますでしょうか。

C委員 今年度末で5つのライフステージ全てについて事業が完了し、一巡するというところで、来年度は特定のライフステージに限らない形で講演会を実施されるということですが、生活習慣病の予防がテーマということもあり、内容的には成年期が主な対象なのかなと感じています。その他のライフステージである乳幼児期、妊娠期、学齢期等についてはどのような取組を考えておられるのでしょうか。

事務局 講演会につきましては、お手元の資料を御覧いただきますと、やはり成・中年期が主な対象というように捉えられるかと思いますが、そもそも今回の講演会開催にあたりましては、国立循環器病研究センターとの協同のプロジェクトということで、先方も地域との連携を進めたいという御意向をお持ちでして、提唱されている「かるしおレシピ」につきましても、生活習慣病の予防によって循環器病を予防するというので、我々の目標とも一致する部分があることから、何か協力して事業ができないかというところから出発し、企画してまいりました。今後につきましても、定例的な形で、毎年一つの目玉として継続していければと思っております。

なお、その他の取組としましては、紙芝居の貸出や出前講座を継続して行うことで、成・中年期以外のライフステージもカバーしていきたいと思っております。また、次期計画の見直しを行う際には、ライフステージの扱いをどうするのかということもございますので、アンケートも踏まえながら検討する中で、御意見をいただければと思っております。

委員長 他に御意見等ございますでしょうか。無いようですので、次に案件（3）「今後の食育推進について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

事務局 <資料に基づき説明>

委員長 事務局から説明いただきました。ただいまの説明について、何か御質問はございますでしょうか。

B委員 「健康すいた21」の冊子を見させていただいているのですが、今後「健康すいた21」が計画の柱になっていく中で、10ページのアンケート結果を見ましても、冊子そのものを知らない人多すぎるのではないかと思います。知らない人が6割を超えており、知っている人が1割に満たないということで、市民に浸透していないということが明らかですが、せっかく良いものを作っても浸透しないと意味が無い。今後浸透させることが大きな課題かなと思います。

また、11ページの項目の一つに、「食事をするときに健康のために気をつけていること」というものがありますが、その中の「塩分を控える」「油ものを控える」「間食を控える」といった項目については、特に若い人たちの意識が低いという結果が出ています。こういった実態がある中で、今後はこういった目標を設定して取り組んでいかれるのでしょうか。

事務局 目標値等につきましては、次期計画策定の際には、委員の御意見を伺いながら検討してまいりたいと思っておりますし、計画自体の周知につきましても、今後も進めてまいりたいと考えております。

B委員 現在の計画は、平成18年度から平成27年度までの10年間の計画になっており非常に長いスパンですが、そんな悠長なことをしていたら、どんどん健康異常の問題が好ましくない状態になってくる。少しでも早く対策をとらないといけなのではないかと思います。

事務局 委員から御指摘いただいております、認知度につきましては、アンケート結果からもわかりますように、計画自体の認知は十分にされていないと感じています。これまでは、外部委員が参画する会議がない中で計画を策定し、庁内での情報共有や取組しか行っていなかったということもありますので、今回一つの区切りとして、食育推進計画と連携し、外部委員で構成する会議も定例的に開催することで、毎年度の取組について報告し、合わせて進捗管理も行っていきたいと考えております。

委員長 「健康日本21」の第2次計画も10年という計画期間ですので、次期の「健康すいた21」につきましても、健康日本21をベースに、それに沿うような形で策定されるものだろうと思います。他に御質問ございましたらお願いいたします。

A委員 来年度アンケートを実施されるということですが、前回実施時は1,000人規模でされていまして、今回どれぐらいの規模でされるのかを教えてください。また、アンケート内容ですが、食育だけでされるのか、それとも健康すいた21の中で食育も含めた形で実施されるのか、どちらでしょうか。

事務局 アンケートにつきましては、2,000人程度を考えております。アンケートの内容につきましては、他市でも健康増進計画と食育推進計画を併せた形でアンケート調査を行っているところがございますので、それぞれの計画で必要なアンケート項目を選択して、併せて実施したいと考えております。

委員長 アンケートの実施が来年度、そして実施結果を踏まえた計画の策定が再来年度という流れになるということで、事務局から説明していただきました。その他に御質問ございますでしょうか。

B委員 アンケートの内容ですが、我々の世代と違って、現代の若者は、コンビニで出来合いの物を買って食べるということが当たり前になっている。昔は「お袋の味」といって、栄養面にも配慮した物を食しておりましたが、現在は「袋の味」とも言われておりまして、食文化そのものが変わってきていると思います。そういった実態の把握についてもアンケート調査の項目に必要ではないかと思います。

委員長 コンビニの利用度であるとか、アンケートの内容を考える時に配慮していただきたいと思います。他に御質問はございますか。無ければ次の案件（４）「その他」について、事務局から何かございますか。

事務局 次回会議の日程でございますが、平成２６年の７月頃を予定しております。会議日程が決定次第、改めて開催通知を御送付させていただきます。

また、例年実施させていただいております食育推進事業の実績調査でございますが、３月下旬から４月上旬頃に文書で照会をさせていただく予定をしております。平成２５年度に各団体で行われた食育推進事業の実績及び平２６年度の予定について御回答いただくものになります。御協力をお願いいたします。以上でございます。

委員長 その他、各委員の方から、御提案等があれば、お出しいただいて結構です。本日の会議を通しての質問でも構いませんが、何かございますか。

委員長 ないようですので、本日の会議はこれで終了といたします。本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。